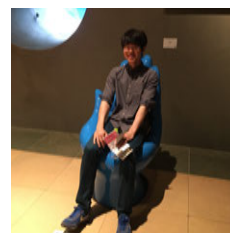
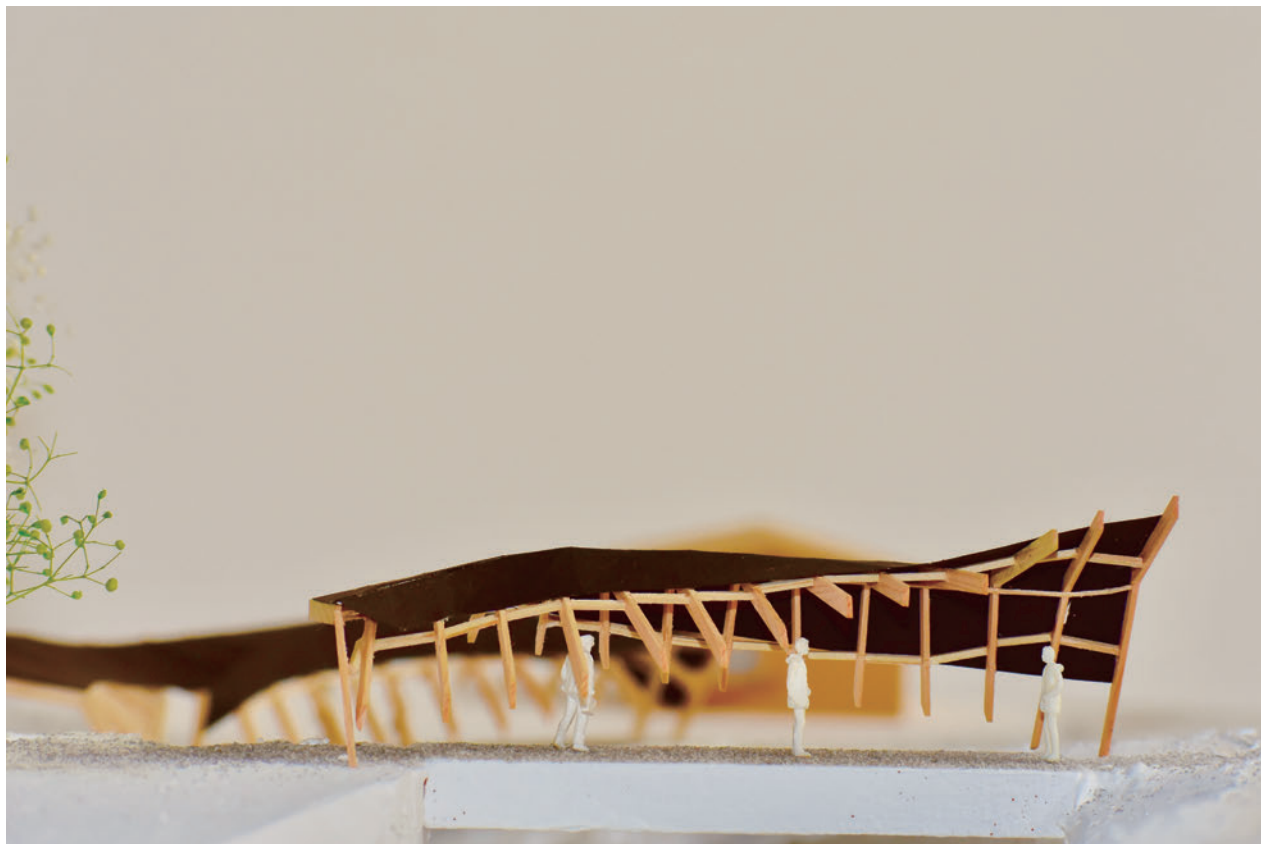


Lead scape ～継承される営み～



堤健太郎

建築設計計画研究室

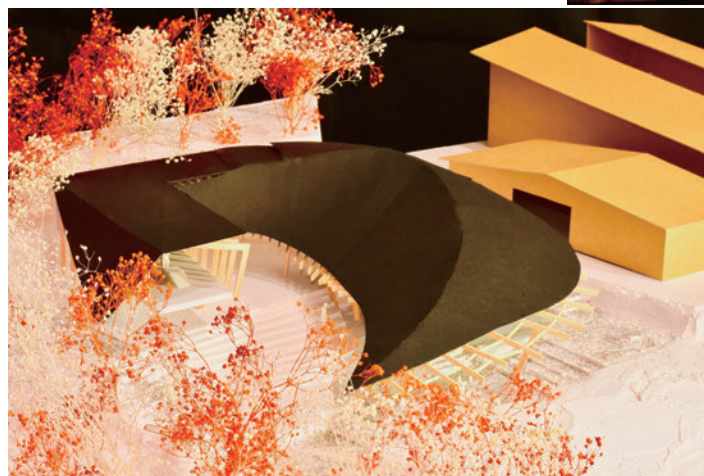


□コンセプト

伊勢原市大山にある歴史的参道に寄り添うように三か所の博物館と二か所、現在参拝形式によって使われなくなった滝を建築する。その五つをこの参道に点在する遺物と長い年月を紡いできた参道、そこに残る宿坊や土産店生きた歴史を介しながら巡ることによって、過去の信仰、人々の記憶を現代へとつなぎ、この参道全体を歴史博物館として機能するように建築を配置する。そのことにより大山に歴史観と呼ぶべきものが構築される。

□プログラム

大山参道に面する三つの歴史の介在する敷地に周辺敷地に馴染むようなデザインの博物館を建築する。さらに、もともと参拝形式に組み込まれていた滝に地形に馴染みランドマークとなるような屋根をかけ意識的に大山参道をつなぐことにより大山参道自体を一つの大きな博物館とする。博物館内に大山参道に積層する展示物を博物館に展示することにより参道に寄り添い住んでいる地域住民、大山を訪れた人々を意識的にもつなげる。



□デザイン

大山参道は現在も宿坊や土産物店の建ち並ぶ様子はところどころに残されている。参道を上り、見下ろした際に見える、建ち並ぶ宿坊や土産物店の家々の切妻屋根群のような構造を屋根に垂木に用い示した。更に周辺敷地の山の斜面のようなうねりを屋根面に加えることでこの大山に馴染み溶け込むようなデザインとした。

配置した箇所の歴史的側面、敷地的側面を加え博物館はそれぞれの敷地に溶け込み、参道自体を一つの博物館としている。

